

平成29年度 事業計画書

(1) 男子学生の収容

寄附行為の第3条により、公益財団法人春風学寮の建学の目的は下記のとおり定められている。

「本寮は男子学生の収容及び奨学援助をはかり、神を畏れ、学を励み、自治協同の精神を養い、併せて寮生相互に愛と信頼を厚くするを目的とする。」

この目的を達成するため、本寮は東京近郊の男子学生を収容する。

(2) 聖書研究集会の開催

前述の建学の目的にさらに沿うため、本寮は、寮長の森山浩二氏を中心に、学寮先輩の方々のご協力により、夏、冬、春の休寮期を除いて、毎週日曜の午前中1時間半、聖書研究集会を行う。出席者は、本寮の学生および寮長夫妻と、友人、学寮先輩である。

(3) 感謝祭（寮祭）

88年目を迎え、本年も恒例の春風学寮感謝祭（寮祭）を4月29日に開催する予定である。そのため、前年度の1月頃から準備を始めている。学寮祭当日は、寮生は「受付」や「会場」係など裏方の仕事に協力し、先輩方との交流によって、貴重な学びと社会人になるための良き経験を積むことになる。

(4) クリスマス祝会の開催

例年通り12月16日（第3土曜日）、午後6時から9時半まで、クリスマス礼拝、夕食会を含む祝会（寮生の演奏や余興やゲームなど）を行う。来賓や学寮の先輩、お世話日になっている方、寮生を合わせて、40数名の参加を予定している。

(5) 留学生の支援

中国・アメリカからの留学生2名を奨学援助する。（現在、1名の中国人と1名のアメリカ人留学生が在寮）

(6) 読書会の開催

本年は、数人の新寮生と留学生を中心に、春に、内村鑑三『後世への最大遺物』（岩波文庫）、その後、寮生の希望する本や、私が推薦する本の読書会を適宜行いたい。

(7) 講演会・先輩から話を聞く会の開催

本年も、卒寮生や寮友・関係者などに来てもらい、寮時代のこと、あるいは、現在の社会人生活や仕事、寮生に伝えたいことなどの話を聞く機会を設けたい。

(8) 名所旧跡探訪と小旅行

寮生たちは東京に住んでいながら、意外に名所旧跡を知らないし、出かけていないので、親睦を兼ね、祝日などを利用して、名所旧跡探訪を行いたい。また、東京近郊の山々などに一日ハイキングに出かけたい。外国人留学生はできるだけ参加してもらおう。

(9) 寮生の研修や福利厚生への援助

中高生聖書講座や内村鑑三記念講演会に参加、出席する寮生や、本年2月に行われた「日韓青年友和の会」の主催「訪韓の旅」や、その他さまざまな研修会や、短期海外留学などに参加する寮生への補助をする。また、寮生主催のボウリングやスポーツ大会と、その後の食事会など親睦を深められるようにしたい。できれば、月に一回程度、近くの「世田谷温泉」のお風呂に行き、また、一泊温泉旅行も行いたい。

(10) 「創立90周年事業」について

春風学寮・創立90周年をめざして、「記念誌」作成発行の準備と、大がかりな建物改修に向けての実施委員会を立上げたい。できれば、創立者・道正安治郎先生と関係が深い「中国東北部の歴史を学ぶ旅」を創立88周年に当たる本年夏に実行したい。参加する寮生の費用の大部分を援助し、その報告書も作成し、関係者に配布したい。

(11) 春風学寮ホールの有効利用について

本学寮のホールは、主に学寮の日曜日の聖書集会を始め、学寮の諸行事で使用されるが、それ以外に、学寮関係者の要望があれば、聖書の学びの会や学習会、話し合いの場として、寮長の判断により許可し、広く利用してもらいたい。

平成29年3月11日